

様式第2号(第9条関係)

会議録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回ふじみ野市資料館運営協議会会議			
開 催 日 時	令和6年9月12日(木) 開会時刻 午後4時00分 閉会時刻 午後6時20分			
開 催 場 所	ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館 研修室			
出席した者の氏名 (委員7人中6人出席)	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	三上 栄一	主幹兼 資料館長	井上 樹朗
	副委員長	比嘉 洋子	学芸係長	田中 桃子
	委員	宮下 宏樹	専任主査	高崎 直成
	委員	遠藤 壮	専任主査	橋本 鶴人
	委員	原口 雅樹	主任	関口 正幸
	委員	中里 美子	主任	横山 真一
会 議 の 議 題	(1) 新資料館の名称(案)について (2) 新資料館の展示テーマについて (3) その他			
会議の公開又は非公開 の別	公開 ・ 非公開			
会議の非公開の理由				
傍 聴 人 の 数	1人			
発 言 の 内 容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会 議 資 料	別添のとおり			
事 務 局	教育部社会教育課上福岡歴史民俗資料館			
議事の確定	確 定 年 月 日	令和6年 月 日		
	記名押印	役職名 委員長 三 上 栄 一 ㊟		

別紙

発 言 の 要 旨

発言者	発言の要旨
司会 (館長)	開会の挨拶 欠席委員の報告(藤田委員) 出席委員数報告(出席委員 6 人) 会議成立の旨、報告 傍聴人数報告(傍聴人は無し)
事務局 (館長)	配布資料確認 (次第、資料 1 新資料館の名称について、展示設計協議資料、 資料 2 新資料館の展示テーマについて、展示レイアウト案) 議事進行を三上委員長に依頼
三上委員長	議事(1) 新資料館の名称(案)について事務局に説明を求める。
事務局	文化財保護審議会に名称案を提示・投票をしたところ、資料 1 のとおり結果となった。 (上位はふるさとミュージアム・歴史文化博物館・郷土(ふる さと)歴史博物館の 3 案が各 5 票) リニューアルオープンすると広さが 2 倍になるので博物館や ミュージアム等の名称を望む委員が多かった。
三上委員長	原口委員に博物館の要件の説明を求めた。
原口委員	大まかに分類すると、 (1) 博物館法に基づく登録を受けた登録博物館。 (2) 博物館相当施設として指定を受けたもの、東京国立博 物館等はこれに該当。 (3) こちらのよう博物館の機能はあるが博物館法に基づ かず、登録も指定も受けていない博物館類似施設。 リニューアルに伴い博物館相当施設を目指すのであれば、資料 館より博物館やミュージアムが良いと思う。
三上委員長	博物館でも構わないということである。ミュージアムより博物 館とした方が良いと思う。 郷土資料館から、歴史・文化を引き継ぐのに、館名に横文字を 使って良いのかという思いがある。 若い人たちに対しての印象も、催し物等で解決できると思う。 近隣も博物館(川越市、狭山市、入間市、飯能市)の名称で運

	営している。 日本人は母国語を大事にして繋いでいくべきだと思う。 子ども達も「博物館で勉強した」と言う場合と「ミュージアムで勉強した」と言う場合では重みが違ってくるのではないかな。 公文書も博物館のほうが、通りが良いのではないかな。
宮下委員	子どももいるので、ふるさとミュージアムも馴染みやすくして良いとも考えたが、ミュージアムの意味を検索したら、博物館だけでなく美術館という意味を持っている。 今後、美術品は集めるのか。
事務局	新資料館では、市民が美術的なこともできるように考えている。ウェスタと文化・芸術関係で繋がるようにしたい。
宮下委員	日本ではアートミュージアムのように美術館を連想する人が多い傾向。 博物館と美術館を同じようなウェイトで進めるなら、必要な美術資料はあるのか。
事務局	土器も美術的なものとして捉えた展示はできるのではないかな。
宮下委員	美術色が強ければミュージアムでも良いが、今の所蔵量やこれまでの企画を鑑みると委員長が言うとおりの、博物館が良い。 一般には「博物館」が馴染みはあるのではないかな。
原口委員	今後の活動の中で美術的なものを排除しないと思うが、主に博物館的な活動をしていくのだから、博物館で進めた方が館の性格にふさわしい。 「美術館的なこともする、博物館的なこともする」というより、博物館の方が無難でわかりやすいし、説明しやすい。
中里委員	役員で話し合いわかりやすい名称が良いということになった。 ミュージアムの意味を調べ、音としての響きは良いが文化を伝える重みを持った博物館という名称が良いと思った。 資料館より博物館の方が物は沢山あるイメージである。
遠藤委員	最初は横文字でも良いと思ったが、地域の思いを繋いでいくために博物館が良いと思う。 資料館だとピンとこない子どももいるが、博物館だと知っている言葉なので行く気になるようだ。
比嘉副委員	この辺りにミュージアムっていう施設が無いから孫たちはピン

長	とこない。ミュージアムの説明をする必要がある。 博物館の方が子どもたちはイメージしやすい。 博物館であれば、現時点で展示できる収蔵物はたくさん所蔵しているので良いのではないかな。
三上委員長	全ての委員が博物館でよいということならば、3案のうちふるさとミュージアムは除外して、歴史文化博物館と郷土（ふるさと）博物館となる。 皆さんにもう一つ伺うが、美術館的なこと等、幅広く使うため、単に「博物館」としたほうが自由ではないかな。
原口委員	館の性格として、例えば秩父の自然史博物館、県立川の博物館などは名前が内容に特化しているが、当市で館をリニューアルするにあたっては、歴史・文化を扱うことになるのだと思う。 基本的には歴史・文化を紹介する、資料を保存・活用していくという施設の性格をハッキリ出していくことは大切であり、わかりやすいのではないかな。
三上委員長	埼玉県立博物館が埼玉県立歴史と民族の博物館などになったが、少し長い名称はいかがかな。 「歴史」や「郷土」を入れると、扱える幅が狭くなる。
原口委員	地域の歴史・文化が中心になるが、ある程度は施設の性格がわかる「歴史」等の文言を名称に表すと分かりやすいと思う。
事務局	文化財審議会からも何か加えて欲しいと言われている。
原口委員	美術的、自然史的なものを扱えないわけではない。主たる性格の「ふじみ野市の歴史」に係るものを展示・紹介していることがわかる方が良いのではないかな。
事務局	（館の性格を紹介するために資料2により説明） 見取り図（レイアウトプラン）の3案を説明。
宮下委員	現時点では、新資料館の展示テーマがわからない。 単に「博物館」にしておけば、今後なんでもできるので良いのではないかな。 別に愛称をつけても良いのではないかな。
事務局	市長は愛称を付けることは差し控えたいとのことだが。
宮下委員	今は付けないが、検討しても良いのではないかな。

三上委員長	(事務局は) 意見を打ち消さないようにして欲しい。委員の意見を否定するなら協議会の意味がなくなる。事務局が決めればよいという話になってしまう。
宮下委員	今後の可能性や発展性を考えると、「歴史」や「文化」など固定されるような文言は不要ではないか。 それで、ふるさとミュージアムの案も出たのかもしれない。
遠藤委員	どのようなテーマで新資料館がつくられるのかわからないが、わかりやすくシンプルにすると良いと思った。
中里委員	誰にでもわかりやすい「ふじみ野市立博物館」が良いと思う。
比嘉副委員長	地域の名前が入っているほうが、他の地域から来る人は検索しやすい。
事務局	「ふじみ野市立」は条例上、最初に付くことになるのでその後をどうするか。
原口委員	最初の3候補の中から選定するという提案だったと思うが。館の性格から、歴史や郷土が入っているほうが良い。 最初に委員長が言った通り、ミュージアムではなく博物館となって良かった。 シンプルに「川越市立川越博物館」のようにするなら特に反対しない。
(館長)	川越市は「川越市立博物館」という名称である。
事務局	「ふじみ野市立」は条例上で付くことになる。 博物館の前に何かを加えるか。「ふじみ野市立博物館」か「ふじみ野市立ふじみ野博物館」等を検討して欲しい。 看板に「ふじみ野市立」を表記するかは別問題である。
三上委員長	これに決定したわけではないが「ふじみ野市立博物館」を我々の総意の案として報告する。 続いて、議題(2)新資料館の展示テーマについて事務局に説明を求める。
事務局	資料1の新資料館の基本方針案について、この会議で御意見を頂き、10月末には基本方針案を市長に説明したいと考えている。

	皆様には施設の機能について重点的にご審議頂きたい。 展示をどのようにストーリー立てて行うかは、社会教育課の学芸員が集まり、検討をしている。 内容に不足があればご意見を頂きたい。
事務局	江戸時代に村が成立し、それが発展するうえで川や陸の道を使い、人と物の交流が始まり地域がつくられていく。 それらを切り開いた人物が三上山城守であり、その後の富永善左衛門などに繋がっていくような流れを展示していく予定である。
三上委員長	火工廠は是非、展示してほしい。 三福学校の木材を活かせないか。目立つように柱を立てるか寝かせるかは指定しないが、展示設計業者には我々の意向を反映させた内容で仕上げてもらいたい。
事務局	三福学校については、業者と検討中である。 保管するときに梁が長すぎて保管場所に入らなかったという経緯はある。
三上委員長	木材は展示物として活かしてほしい。 身体障がい者が雨に濡れないで車を乗り降りができる設備（車寄せ）は絶対に譲れないので必ず作ってほしい。
中里委員	活動拠点がなくなるので、悩んでいる。 新資料館に行って活動できるのかが不透明である。交通手段がないのでイベントの手伝いくらいはできると思うが、メンバーは徒歩か自転車で移動するので現地に行くことが難しいかもしれないので何らかの対応を検討してほしい。
三上委員長	事務局で送り迎えなどの対策を検討してほしい。 また、学習支援でボランティアの市民学芸員の育成については、和気藹々で張り切ってやってもらえると良い。
中里委員	友の会は上福岡歴史民俗資料館が閉館した場合は解散をする。
事務局	今後、新しい館のボランティアの在り方、地域の盛り上げ方をご相談させていただく。産業振興課や商工会、市文化・芸術所管部署とどのように連携していくのかを御審議頂きたい。
三上委員長	そのようなことも必要だと思うが、詳しいことは改めて検討する。ここで仲間を増やしておいた方が良いと思う。

中里委員	今まで、両館で募ってきたボランティアに加えて、新たに募って連携してはどうか。
事務局	学習支援のボランティアとは別に、新たにボランティアの枠を設定するということによいか。
三上委員長	商工会と連携して行きたい。
事務局	学校関係が参画していないことに関して、今後は如何するかということをご提案した。 商工会を含めた企業、大学・高校の支援協力によって体験学習などができるのではないかということについて御審議頂きたい。
宮下委員	博物館を機能させるためには、大学や企業、市民ボランティアとの連携があると良い。現時点では見えてこない。
遠藤委員	出来るだけ多くの団体が関わることで新しい館を支え、盛り上げられるのではないかと感じた。
原口委員	確認になるが、今は新資料館の展示テーマが議題のはずなので、展示ストーリーの川の道・陸の道に呼応した形で展示がリンクしていくことの話をしてはどうか。このままでは、議題に対しての答えが出ない。 原始・古代から現在・未来への通史的な展示になるだろうが、川の道・陸の道以外に抜け落ちている内容がないかを確認する必要があるのではないか。 上福岡地域は都市化が早かったが、大井地域は昭和30年代まで江戸や明治時代のような農村生活を見ることができたので、そのような特色を加えるのかなどを諮ってはどうか。 また、先ほどの御意見も併せて諮れるのではないか。 「道」というものが人の交流を支えてきており、ふじみ野市の歴史には必要不可欠と考える。
三上委員長	テーマの確認をして、漏れがあったものを追加するということが。ゆったりした配置とし、後からでも追加できたら良い。
事務局	この基本設計を基に新しい展示を作る。スケジュールとしては10月末にこの基本設計は終わり、それに基づいて館を作っていく。
比嘉副委員	常設展はどこの博物館でもいつも同じ展示内容なので、変えて

長	はどうか。
事務局	季節によって雰囲気を変えるということか。例えば、夏は提灯を飾るなどのイメージか。
比嘉副委員長	企画展とは別である。常設展もいつ行っても同じ内容でなくても良いのではないか。少しでも変わっていると行ってみようかという気にはなるのではないか。
中里委員	常設展示全体ではなく、一部で定期的に展示替えをができるのではないか。
(館長)	今後、改修するときは展示を替えやすい設備にしようと考えている。大きな物や動かせないもの以外は、変えられる予定である。
三上委員長	他に何かあるか。 施設のロゴについて、帆掛け船の帆は青ではなく白である。 桔梗も一つではなく、いくつも咲いてるようにしてはどうか。
事務局	レタリングなどはあくまでも館のイメージをしやすいようにと作っているものである。
三上委員長	参考イメージということか。 また、何かあったら情報を出してほしい。このあたりの地域は昔から桔梗になじみがあるので良いと思う。
事務局	審議内容は以上。 見取り図は、柱や天井の高さでできることが変わるので決定ではない旨をお伝えする。
三上委員長	次回の見取り図はA 3で作成してほしい。 職員の福利厚生スペースも用意するように。
事務局	打ち合わせスペースや休憩スペースにもなる場所を作っている。 気になる点としては、名称案については「ふじみ野市立博物館」でも大丈夫だが、この会議を経て文化財保護審議会にも諮っているので3候補の中ではどれが良いか伺いたい。
中里委員	3候補の中から選出していないから、どうするかということか。

三上委員長	3 候補を含めた案の中で検討を行い、「ふじみ野市立博物館」を資料館運営協議会として選出した。これで決定ということではないので問題ないのではないか。
事務局	これまで説明してきた 3 候補の中からではなく、本日の新案で進めるということによいか。
三上委員長	全ての候補の中から検討した結果、この「ふじみ野市立博物館」を選んだことを報告して欲しい。
中里委員	收拾がつかなくなれば良いが。
事務局	資料館運営協議会の提案ということで、「ふじみ野市立博物館」を全員一致で選出した旨を報告する。
中里委員	全員一致でというところが大切である。
三上委員長	それでは、議題（3）その他について何かあれば。次回は何時頃を予定しているか。
(館長)	次回は 1 2 月頃にこちら上福岡歴史民俗資料館で開催する予定。 また、近くなったらご連絡させていただく。
事務局	次回までには、設計の詳細ができているはずである。
中里委員	毎年、友の会と資料館が共催で大掃除を行っているがスケジュールの問題はないか。
事務局	おそらく、(第 3 回の会議は) 1 1 月後半から 1 2 月の初旬まで間の開催になると思う。 案が固まりきってからの提案より、会議での意見を反映させる余地を残しておいた方が良いと思う。
中里委員	1 1 月の後半は友の会のイベントが多くなってしまう。それを踏まえて、日程調整をしてほしい。
事務局	他に 2 点ほど連絡事項がある。 福岡河岸記念館の石垣の東側について、7 月に表面の石が劣化して剥離したため、調査をする。 業者が歴史環境研究所に決まり、年内に調査を行う予定。

	毎年、秋に特別展を行っており、今年は大井小学校開校１５０周年関連の展示を行う。 大井小学校とタイアップして展示を行うもので、校内での展示が１０月２日～３０日までで児童・保護者・教職員に随時見学していただける。１０月２６日は大井小フェスティバルとして、地域の方にも見ていただける。 写真や教材などの現物資料を中心に１０月２３日から１１月２７日まで、旧大井村役場で展示をする予定である。 年明けになるが、昔の学校・昔の暮らしということで展示をしたり、各学校に向けて呼びかけを行い、出張事業を行うことになると思うので御協力いただきたい。
中里委員	小学校の昔の暮らしのことで気になる点がある。上福岡歴史民俗資料館が閉鎖となった後はどう対処していくのか。
事務局	正式に決定はしていないが、館までの距離が遠くなる学校については、バスを借りて対応することになるかもしれない。 その際には、機織り部会の方については新しい館での機織り体験ができないか内部で調整を行っている。
中里委員	協力できたら良いなと思っている。
三上委員長	文化財の会議でも今後の取り組みについて少し気に留めておいても良いのではないかという意見もあった。 他に何も無いようであればこれで会議を終了するがよいか。
比嘉副委員長	これで、令和６年度第２回ふじみ野市資料館運営協議会を終了する。
一同	お疲れさまでした。 ※資料２を回収した。